

大物目指してフィッシング いちご杯九州へラブナ釣り大会

4月20日、不知火干拓貯水池(下池)において、第9回いちご杯九州へラブナ釣り大会が行われ、町内外より91人の参加がありました。この日は、あいにくの雨となりましたが、下池には家族連れやカップル、ベテランの釣り師などが出した竿がずらりと並びました。

競技では、36・4フィートの大物や18・1フィートの釣果を上げる人もおり、なかなか釣ることができず、くやしそうな表情を見せる子どもや、大物を軽々と釣り上げるベテランの釣り師など、それぞれ結果は異なりましたが、どの参加者も一日、へラブナ釣りを満喫している様子でした。



▲大物ヒット?

和鹿島イチゴを味わって 町内小中学校にイチゴ贈呈

4月23日、八代地域農業協同組合和鹿島イチゴ部から、町内の小中学校に、イチゴの贈呈が行われました。

これは毎年行われているもので、贈呈されたイチゴ2500個は学校給食のデザートとして、子どもたちのもとへ届けられました。

松本庄一部長は、「イチゴは子どもから大人まで、みんなが笑顔になる作物だと思っています。今後もしっかり育て、後継者を育成し、町の産業発展に寄与したいと思っています。来年はもっとたくさんさんのイチゴをプレゼントできればと思っています」と話されました。

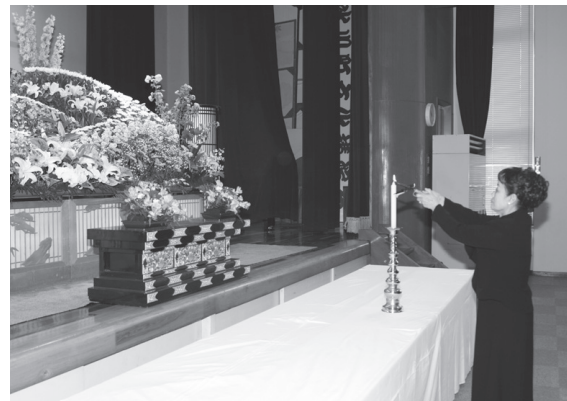


▲自慢のイチゴを味わってください

貴い命に平和を誓う 氷川町戦没者追悼式

4月23日、氷川町公民館において、氷川町戦没者追悼式が行われました。式典では、遺族代表の楠瀬麗子さん(新田)による献灯後、全員で黙とうが捧げられ、平和を祈り献花が行われました。

また、氷川町遺族連合会を代表して白丸隆満(北野津)さんは、「家族の無事を願い、生涯を国のために捧げた人々が、本日の日本の礎となっていることを決して忘れてはなりません。先の大戦から学び取った教訓を深く心に刻み、平和の尊さ、命の尊さを次の世代に語り継いでいきます」と追悼の言葉を述べられました。



▲永久の平和を願い献灯

コマコンパいて咲くね 竜北西部小学校で花育活動

4月28日、竜北西部小学校において、花育活動として、ヒマワリの種植えが行われました。

これは、花き協会八代支部が主催したもので、花育活動を通して、花と緑に親しみ、優しさや美しさを感じる心を育てるとともに、地域とのつながりを深めることを目的としています。

1、2年生の生徒たちは、ヒマワリの種を一つ一つ手に取ると、土に指で穴を開けながら、丁寧に植えていました。1週間ほどで芽が出て、6月初めごろには、オレンジと黒2色のヒマワリが咲く見込みです。



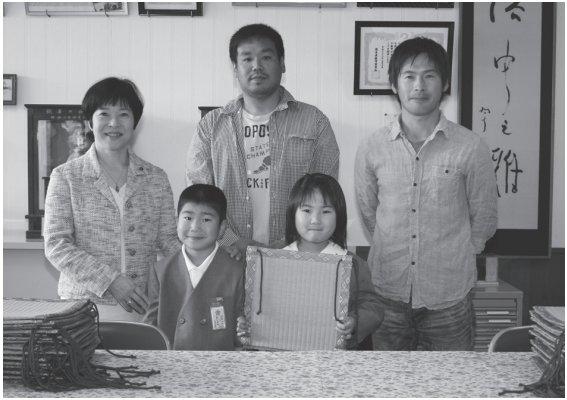
▲一つ一つ大事に植えます

い草座布団に心を込めて 宮原小児童に畳表座布団贈呈

5月1日、宮原小学校において、新入生への入学記念として宮原農火の会から「い草畳表座布団」が贈呈されました。

これは毎年行われているもので、今年の座布団は、い草農家の赤星直裕さん(原田)が生産された、い草を使って作られています。

木村高雄会長(今)と赤星さんから美しい緑色の座布団が手渡されると児童代表の村上翔樹くん(新村南)と田中蘭ちゃん(有佐)は「ありがたうございます。大事に使います」と笑顔で受け取り、早速、香りを確かめています。



▲大事に使って勉強頑張ります

町勢発展に多大な貢献 平岡啓輔さんに「旭日双光章」

5月8日、熊本県庁で行われた叙勲伝達式において、蒲島郁夫熊本県知事より、元宮原町長の平岡啓輔さん(新村南)に勲章が手渡されました。

平岡さんは、平成7年に宮原町長に初当選後、3期10年にわたり在職され、「町政は町民と共にあり」を基本理念とした対話と住民参加のまちづくりに取り組まれ、町政の円滑な運営に尽力されました。

住民参加の拠点として、まちづくり情報銀行の開設や地区会議を重ねるなど、活発なまちづくり活動を展開され、住民参加による新総合振興計画を策定されました。

また、竜北町、宮原町の二町合併後の平成18年4月から氷川町助役、平成19年4月からは副町長として、約4年間、積極的に行政改革を推進され、新時代の地方自治にふさわしい行政体制を整備されました。

地方行政を取り巻く環境において、政治、経済、社会情勢が大きな転換期にある中、その変動する社会に的確に即応する町政の展開を図り、町民の融和と協調に尽力され、町の発展に多大な貢献をされました。

受章に際し、平岡さんは「身に余る光栄であります。町民の方たちのこれまでのご支援のおかげで、町民の代表

として受章できたものと思います。今後は健康に注意して生活していきたいらと思えます」と話されました。



▲蒲島知事より叙勲伝達を受ける平岡さん

叙勲とは
叙勲は国や社会へ功績を上げた人が、国家から勲章を授かる栄典(表彰制度)の一つです。毎年、春と秋に授与されます。

旭日双光章
顕著な功績を上げた人に授与される旭日章の一つです。



氷川町の特産品をPR 宮原SAで氷川町物産展

5月10・11日の2日間、宮原サービスエリアの上下線において、氷川町物産展が行われました。

これは、九州自動車道宮原サービスエリアを運営する、九州産交ランドマーク(株)が企画したもので、初回となる今回は、氷川町物産振興会の「氷川のおみやスイーツ」、塩麴などの加工品が販売されました。

来場者と販売員が、加工方法や原料について会話を弾ませる光景も見られ、下り線の福田店長は「多くの商店が来店し、利用者と地域をつなぐ架け橋になりたい」と話されました。

物産展は毎月第2土・日曜日に開催予定です。



▲にぎわいを見せる物産展会場